

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年2月8日作成)

| | | | |
|---------------------------|--|------------------------------|---------------------------|
| 小委員会名 | 外壁接合部シール技術の高度化小委員 | | 主査名：添田 智美 就任年月：2023年4月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 材料施工委員会 (防水工事運営委員会) | | 委員長名：野口 貴文 主査名：竹本 喜昭 |
| 設置期間 | 2023年4月 ～ 2027年3月 | | |
| 設置目的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>外壁接合部におけるシール目地性能の長寿命化と施工性の向上を目指した次世代の目地設計の方向性を探ることを目的とする。このために、新技術の活用とその評価手法、最新の目地設計データの取得と応用方法、シーリング技術を高度化するための技術検討および維持保全・改修技術の信頼性向上の取り組みを行う。</p> <p>初年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1成分系シーリング材の硬化機構と性能の評価 ・目地設計における特性値のアップデートの方法検討とフレームワーク作り・性能設計指針(案)の改定方針の検討 <p>2年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1成分系シーリング材の硬化機構と性能の評価 ・目地設計における特性値のアップデートの方法検討とフレームワーク作り・性能設計指針(案)の改定方針の検討 <p>3年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1成分系シーリング材のWJへの施工標準の検討 ・シーリング技術の高度化のための技術検討 ・維持保全・改修技術の信頼性向上、適正化のための技術検討 <p>4年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1成分系シーリング材のWJへの施工標準の検討 ・シーリング技術の高度化のための技術検討 ・維持保全・改修技術の信頼性向上、適正化のための技術検討 | | |
| 委員構成 (委員名(所属)) | <p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：添田智美(フジタ) 幹事：塚越雅幸(福岡大学)、松尾隆士(清水建設)、宮内博之(建築研究所)、山田人司 委員：井原健史(竹中工務店)、小野清人(LIXIL)、菊地裕介(建材試験センター)、佐々木哲也(高橋カーテンウォール工業)、中島亨(カネカ)、野口修(マサル)、八田泰志(セメダイン) 福井宏(シーカ・ジャパン)</p> | | |
| 設置WG (WG名：目的) | <p>シーリング材耐久性評価技術WG</p> <p>性能評価として、硬化途上ムーブメントを考慮したシーリング材の試験方法について検討を進める。また、ワーキングジョイントへの1成分形シーリング材の適用性について、シーリング材種や試験体の条件や各種試験方法を既往の文献データやWGで実施する実証実験を通して、総合的に検討していく。さらに、シーリング分野における省力化施工に寄与する技術についても引き続き協議し、シーリング材の維持管理・調査診断・改修領域へ技術的な普及に努める。</p> | | |
| 2023年度予算 | 250,000円 | ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無 | |

| 項目 | 自己評価 |
|-----------------------|--------------|
| 委員会開催数 | 6回(年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |

| | |
|--|--|
| <p>催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画</p> | <p>2023年12月の「第12回防水シンポジウム」において、II-1「1成分形シーリング材の性能評価について」と題して、シーリング材耐久性評価技術WGで検討してきたシーリング材の硬化途上における耐ムーブメント評価試験(案)を提案した。</p> |
| <p>大会研究集会</p> | |
| <p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p> | |
| <p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在、外壁接合部水密設計指針の付録に、シーリング材性能設計指針(案)および各種シール材の性能試験方法を掲載すべく、原稿を執筆中である。 2. 目地設計における特性値のアップデートの方法について課題の確認と今後の方向性についての議論を実施 |
| <p>委員会活動の問題点 ・ 課題</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 指針の発行に対して遅滞ないように執筆および内容確認が必要 2. 課題に対する具体的な解決策についてさらなる議論必要 |